

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>■開会</p> <p>司会及び開会の挨拶、資料確認</p>
事務局 (市、社協)	<p>■議事</p> <p>(1) 第4期戸田市地域福祉計画の進捗について</p> <p>第4期戸田市地域福祉計画の進捗について、資料1に基づき説明。</p>
委員	<p>福祉総合相談窓口について伺いたい。相談者の悩みを振り分け、各関係部署につないでいるとのことだが、つないだ先での結果は把握しているか。</p>
事務局(市)	<p>総合相談窓口は適切な制度やサービスにつなぐことを目的としているため、つないだ先での対応結果は把握していないが、継続的な関わりが必要な事例もあることから、今後の運営方法については改めて検討させていただきたい。</p>
委員	<p>福祉総合相談窓口のように、悩みを抱えた方を必要な制度へつなぐ窓口は非常に重要な事業であると感じる。</p>
委員	<p>市民が一人で悩みを抱え込むことがないように、引き続き本窓口の周知をお願いしたい。</p>
委員	<p>資料2ページ、ボランティア活動への参加について伺いたい。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、行動制限が解除されたが、ボランティア団体の活動に変化はあるか。</p>
事務局(社協)	<p>ボランティア活動の現状について説明する。まず、社協ボランティアセンターの登録団体数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度から令和4年度にかけて大きく減少している。次に、ボランティア・</p>

	<p>市民活動支援センター（TOMATO）の登録数であるが、こちらについては大きな変化はみられない。これは近年普及が進んだ「こどもの居場所」に係る活動団体が増えたためである。なお、ボランティア活動全般としては、活動控えが続いており、コロナ以前と同じ状態には戻っていない。</p>
委員	<p>地域活動への参加について伺いたい。戸田市は人口の流動性が高く、地域福祉活動の基盤となる町会等の地域団体へ未加入の世帯も多い。そのような人たちを活動へ巻き込むために、例えば商店街のイベントからボランティア活動に繋ぐようなアプローチはどうか。</p>
委員	<p>町会は高齢世帯が活動の中心であるため、地域のなかで若者が声をあげられていないと感じている。若い世代の意見を吸い上げたり、ボランティアに繋げる仕組みが必要では。</p>
委員	<p>若者の地域福祉活動への参加は大きな課題である。社会福祉協議会では、若い世代に向けた取り組みの一つとして、学校での福祉教育を行っている。また、地域福祉活動の参加率の減少は、いままで地域活動を担ってきた年代の方が、定年延長などで働く期間が延びていることも要因であると考えます。</p>
委員	<p>福祉教育について教育委員会と連携し、ボランティア活動を学校の課題とするのはどうか。</p>
委員	<p>私の地元の学校は新しく、設備も素晴らしい施設である。この施設を活かして、地域の高齢者と交流できる仕組みがあると良い。</p>
会長	<p>防犯の都合などにより学校施設の地域開放が難しい場合もある。こどもたちの交流拠点である児童館と連携することも考えられるのでは。</p>
事務局（市）	<p>こどもに対するボランティア体験は重要であると考えます。市では現在上戸田地域交流センターにおいて、小学生を対象にラジオ体操の手伝いや植物への水やりといった「夏休みこどもボランティア講座」の募集を</p>

委員	<p>行っている。</p> <p>総合相談窓口の相談内容やボランティア活動の様子を伺うに、地域福祉だけではなく市民のニーズ全体が多様化していると感じる。行政や社協は、いま取り組んでいる事業が果たして市民ニーズにあっているのかを意識することが大切である。</p>
会長	<p>他に意見はあるか。</p>
委員	<p>特になし。</p> <p>■その他（事務連絡）</p> <p>（2）埼玉県おもいやり駐車場制度について</p>
事務局（市）	<p>資料に基づき説明</p>
会長	<p>何か意見はあるか</p>
委員	<p>特になし</p> <p>■閉会</p>